

生産管理者と工程リーダーで考える 『納期を守る仕組みづくり』

日程計画、手配管理、進捗管理の3つの視点から納期管理の基本と実践方法を学んでいただきます。そして「納期を守る仕組みづくり」を検討して3日目に「改善計画書」を作成して自社に持ち帰る事(おみやげ)をテーマとします。毎回、任意で納期管理に関する資料を持参頂き、他社と比較して自社の良い点と改善点を出してもらいます。納期管理は「生産管理者」と「工程リーダー」の連携が必要不可欠です。ペアでのご参加をお勧めします。

※参加方法は、「会場への来場」または「zoom参加」のいずれかをお選びいただけます。

※会場は受講人数に比して十分な広さを確保し、換気・飛沫防止・消毒・検温等感染防止に配慮しながら行います。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、研修内容の変更や中止・延期となる可能性があります。

1日目

7月2日(金)

- ① 講 義：3つの日程計画（核は中日程計画）
- ② 演 習：「週間の中日程計画」「3日間の小日程計画」の立案
- ③ 討 論：自社の課題・本日の講義内容について

2日目

7月15日(木)

- ① 講 義：手配管理の重要性と管理手法(カムアップシステム)
- ② 講 義：納期管理の肝！進捗管理（進度管理・余力管理・現品管理「仕掛品」・遅れ管理）
- ③ 討 論：自社の課題・本日の講義内容について

3日目

7月29日(木)

- ① 講 義：進捗管理の続き（現品管理「仕掛品」・遅れ管理）
- ② 演 習：個人ワーク改善計画書作成「納期を守る仕組みづくり」
- ③ 討 論：改善計画内容の発表・質疑応答

※各日とも、13:00～17:00の研修となります。

※研修当日は、感染症の拡大防止のため、**検温とマスクの着用にご協力ください。**

講師

株式会社実践マネジメント研究所 代表取締役 植條 英典 氏

平成16年 実践マネジメント研究所を設立 平成28年 法人成り。中小企業から大企業を対象に、生産性の向上と管理者教育に関するコンサルティングに従事(36年間の実績あり)中小企業大学校をはじめ全国各地の各種団体でセミナー講師を担当中。モットーは「常に企業は人なり」「改善に終わりなし」「ご安全に！」

対象者 生産管理者、工程リーダー、工場長、製造責任者、製造責任候補者

定員 30名(先着順) ※定員に達した場合は、締切前に受付を終了する場合があります。

受講料 6,000円 / 1名 ※賛助会員企業は、1名につき3,000円

申込方法 E-mail または FAX **令和3年6月29日(火)まで** に裏面の申込書を送付してください。

会場 フォルテワジマ4階 小ホール (和歌山市本町二丁目1番地)

持ち物 会社案内またはHPの印刷物／組織図／週間と日々の日程計画表／外部調達品の週間発注リスト／QC工程表と作業標準書(代表的な物)

※毎回、同じ資料を持参してください。他にもよい資料がありましたらお持ちください。

【申込み・問合せ先】

公益財団法人わかやま産業振興財団 テクノ振興部 担当:岩崎 Email:tk7@yarukiouendan.jp

TEL:073-432-5122 FAX:073-432-3314

申込書は裏面にあります

